

みずほCustomer Desk Report 2022/03/17号 (As of 2022/03/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	118.39
TKY 9:00AM	118.31	1.0968	129.85	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	119.13	1.1047	131.03	1.3043	0.7190
SYD-NY Low	118.17	1.0950	129.62	1.3156	0.7296
NY 5:00 PM	118.75	1.1037	131.02	1.3036	0.7181
				1.3146	0.7290
NY DOW	34,063.10	518.76	日本2年債	-0.0300	0.00bp
NASDAQ	13,436.55	487.93	日本10年債	0.2000	▲1.00bp
S&P	4,357.86	95.41	米国2年債	1.9462	9.71bp
日経平均	25,762.01	415.53	米国5年債	2.1860	8.09bp
TOPIX	1,853.25	26.62	米国10年債	2.1911	4.38bp
シカゴ日経先物	26,165.00	730.00	独10年債	0.3895	6.00bp
ロンドンFT	7,291.68	115.98	英10年債	1.6265	5.05bp
DAX	14,440.74	523.47	豪10年債	2.4790	▲5.80bp
ハンセン指数	20,087.50	1,672.42	USDJPY 1M Vol	7.03	▲0.68%
上海総合	3,170.71	106.75	USDJPY 3M Vol	7.18	▲0.35%
NY金	1,909.20	▲20.50	USDJPY 6M Vol	7.28	▲0.35%
WTI	95.04	▲1.40	USDJPY 1M 25RR	-0.38	Yen Call Over
CRB指数	280.575	▲0.77	EURJPY 3M Vol	9.73	▲0.88%
ドルインデックス	98.62	▲0.48	EURJPY 6M Vol	9.45	▲0.68%

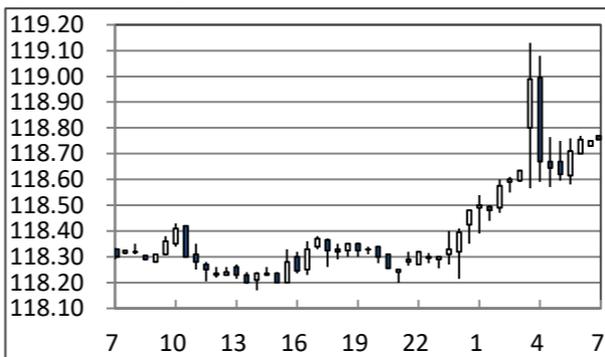
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月16日	08:50	日 貿易収支	2月 -¥668.3b	-¥150.0b
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	2月 0.3%	0.4%
3月17日	03:00	米 FOMC政策金利(上限)	16-Mar 0.25%-0.50%	0.25%-0.50%
	03:30	米 パウエルFRB議長会見	「利上げのペースは選択肢がある。」	

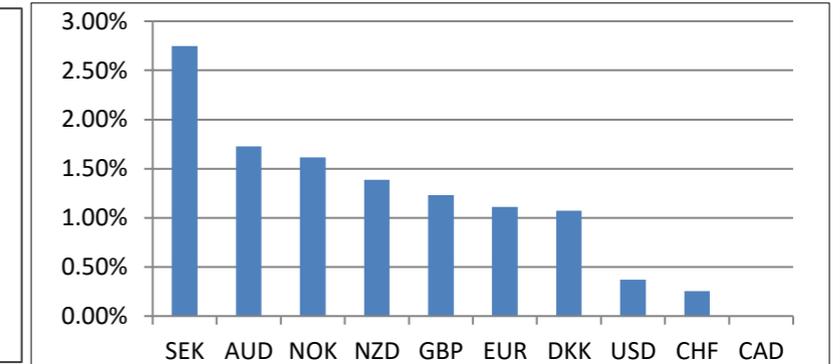
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月17日	09:30	豪 雇用者数変化	2月 37,000	12,900
	09:30	豪 失業率	2月 4.1%	4.2%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	2月 0.9%/5.8%	0.9%/5.1%
	21:30	米 住宅着工件数	2月 1,700K	1,638K
	21:30	米 建設許可件数	2月 1,850K	1,895K
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	3月 14.8	16
	21:30	米 新規失業保険申請件数	12-Mar 220K	227K
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	2月 0.5%	1.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	118.00-119.50	1.0950-1.1200	130.00-132.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間は118.31でオープン後、FOMCを前に様子見の展開が続いた。FOMCでは市場予想通り25bpの利上げが発表されたのに加え、その後も残り6回の会合で毎回利上げを行う方向感が示されたことで、日米金利差拡大を意識した円売りドル買いが進み一時119.13を付けた。FOMCを受けて米10年債利回りは、一時2.24%台を付けたが、その後上昇幅を縮めると共に円は買い戻され、118.75でクローズした。本日は、米3月フィラデルフィア連銀製造業景気指数と米2月鉱工業生産が発表される。米国経済の成長が見られれば、ドル円は引き続き底堅い推移が見込まれる。尚、ウクライナ情勢によるボラティルな動きにも警戒したい。

東京	東京時間のドル円は118.31レベルでオープン。日経平均の上昇も眺めながら仲値にかけて118.43まで上昇するも、前日高値118.45を前に売り戻される展開。もっとも、FOMCを前にした様子見ムードから取引も限定的となる中、小幅な値動きに終始し118.28レベルにて海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は118.28レベルでオープン。米連邦公開市場委員会の発表を控え様子見ムード。20銭以内での小幅推移となり、オープンと同水準の118.28レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.0977レベルでオープン。ウクライナとロシアの停戦協議への期待からユーロ買い優勢。一時は1.1024まで上昇し、その後1.1013レベルでNYへ渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	海外市場のドル円は本邦輸入企業のドル買い等から118.43まで上昇するが、FOMC結果発表を控え、118.30付近での推移が続き、118.28レベルでNYオープン。朝方は米2月小売売上高が予想を下回ったものの、前回分が上方修正されドル円の反応は限定的となり、118.30付近での推移が続く。その後は118.40まで上昇する局面もあったが、英紙がウクライナとロシアは大きな進展が見られ、ウクライナのNATO入り放棄の再宣言や、停戦することなどを含んだ案があると報じたことからリスクオンからドルが売られ一旦118.22まで反落する。その後は米金利が上昇する動きや、リスクオンの円売りにドル円は下値を切り上げ118.61まで上昇。注目のFOMCでは、予想通り25bpの利上げが発表され、景気・金利見通しではロウランが小幅に修正される一方、今年の金利見通しの中央値が1.9%と今年残り約6回利上げが見込まれる形。また今年のGDPは下方修正されたが、来年以降は前回12月時と同じ水準に据え置かれ、予想よりも効派と取られドル円は119.13まで上昇する。パウエル議長の記者会見では利上げのペースについては選択肢を残すと柔軟な姿勢を示し、QTIについては次回5月の会合で最終化させる可能性に言及。予想範囲内の内容であったものの、金利が落ち着く展開に118.57まで反落し、118.75レベルでクローズした。一方、ユーロドルは海外市場で狭いレンジでの推移が続いたが、ロシアとウクライナの協議が進んでいるとの見方から下値を切り上げ1.1013レベルでNYオープン。朝方は1.0983まで下落するが、停戦期待から1.1040まで戻す。その後は米金利上昇や午後FOMC結果を受けたドル買いに1.0950まで反落するが、その後は米金利低下からドル売りが強まり1.1047まで戻し、1.1037レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。